

今出

発行日 平成27年2月6日
 発行責任者 吉田 忠夫 文責任者 渡邊晋一郎
 URL <http://www.ishikawa-j.fks.ed.jp/>

快挙! 全国作文コンクールで最優秀賞受賞!

警視庁主催の第4回「命の大切さを学ぶ教室全国作文コンクール」において、本校2年1組の田子礼良さんが最優秀賞の「国務大臣・国家公安委員長賞」を受賞しました。福島県警が5日に発表したもので、福島県からの受賞は初めてのこと。全国コンクールで最優秀賞ですから、「日本一」に輝いたと言えるでしょう。

作文の内容は、7月11日に本校体育館で開催された岡崎照子さんによる講演会（右写真）に基づいたものであり、交通事故で娘さんを亡くした岡崎さんの体験談に感銘を受けたことを綴ったものです。

田子さんは明日、東京都新宿区のホテルグランドヒル市ヶ谷での表彰式に臨み、その場で作文を発表する予定になっています。ぜひ石川中学校、そして福島県の代表としてがんばってきてほしいと思います。



4つの学年が校舎内で活動する!

先週の金曜日にはフライデーコネクションが石川中学校を会場に行われ、「いつもの3学年+6年生」と500名近くの人数となり、にぎやかな午後を過ごしました。

フライデーコネクションでは英語の学習が行われ、ニール先生や英語の先生方を中心として楽しい英語活動が行われました。入学が待ち遠しい児童同士が親睦を深めるとともに、中学校での英語の授業を体験しました。その後体育館では、6年生と保護者が集まり入学説明会が行われました。

また、1、2年生は学年集会の形で、「高等学校」に関する学習を行いました。1年生では公立高校と私立高校の違いなど基本的な内容から、2年生では受験方法の種類や入試日程等の来年度に向けた具体的な内容を学習しました。3年生では、最後の生徒会総会に向けて、各学級ごとに1年間の反省を行いました。



【ニール先生や新井田先生を中心に楽しく学ぶ小学6年生!】

【教育委員会によるスクールバスの説明】



【高校入試を中心に進路について熱く語る曲山先生、廣瀬先生】

【学級で1年間の反省を行う3年生!】

日	曜	時間割・行事等	昼	スクールバス	今後の行事等
9	月	月①②③④⑤木②	給食	16:30 (一本のみ)	2/13~卒業式練習開始 2/19 沢田中との交流会
10	火	火①②③④木②→学年懇談会 →授業参観	給食	14:40 (一本のみ)	2/22 第3回英語検定 2/24 生徒総会・3年生を送る会
11	水	建国記念日 (第11回白河楽翁剣道大会)			3/6 卒業式予行 同窓会入会式
12	木	【1・2年】①~④ 期末テスト 【3年】木③④⑤⑥①	給食	15:30 (一本のみ)	3/13 学校賞表彰式 第38回卒業式
13	金	【1・2年】①~③期末テスト金④学活・総合 【3年】金①②③④学活・総合 PTA常任委員会 19:00~	給食	16:30 17:45	

来週の授業参観、お世話になります!

来週の10日(火)には、第2回授業参観が行われます。今年度最後の授業参観であり、学年懇談会では、学習面、生活面、進路面で大切なお話がありますので、ぜひ来校いただきますようお願い申し上げます。

期日：2月10日(火)

時間： 受付・・・13:15～ 授業・・・13:40～14:30 学年懇談会・・・14:45～16:30

※授業参観の教科等は下記の通りです。(※当日変更の場合もあります)

1 学年

学級	授業	授業者	場 所	単 元 名	授 業 の ね ら い
1 組	社 会	曲山	教室	技術の発達とさまざまな職業	鎌倉・室町時代の農業・商業・工業の特色を理解することができる。
2 組	国 語	瀬谷	教室	さまざまな表現技法	さまざまな表現技法の効果を考えながら、短文をつくることができる。
3 組	家 庭	相樂	調理室	食品の選択と保存	簡単な加工食品をつくり、食品の安全性について考えることができる。
4 組	保健体育	長谷川	体育館	バスケットボール	レイアップシュートのステップを理解し試合中に使うことができる

2 学年

学級	授業	教 科	場 所	単 元 名	授 業 の ね ら い
1 組	理 科	廣瀬	教室	天気とその変化	前線のまわりの天気の変化について説明することができる。
2 組	国 語	鹿又	教室	方言と共通語	身近な方言を知り、使い方を理解することができる。
3 組	技 術	渡邊	コンピュータ室	情報に関する技術	コンピュータ等の情報機器の望ましい使い方について理解することができる。
4 組	英 語	鈴木	教室	Let's Read2 Try To Be The only one	新垣勉さんの生い立ちをグループで協力しながら英語で伝えることができる。

3 学年

学級	授業	教 科	場 所	単 元 名	授 業 の ね ら い
1 組	理 科	丹野	第2理科室	自然の中の生物	顕微鏡を使って微生物を観察し、分解者の役割を理解する。
2 組	美 術	我妻	美術室	篆刻	印のデザインを石にトレースし、彫りを進めることができる。
3 組	数 学	影山	教室	図形の総合問題	いままでの学習内容を利用して、問題を解くことができる。
4 組	国 語	水野	教室	話す聞く書く	座右の銘について、各自、意味や選択理由を説明することができる。
特別支援	理 科	金子松本	教室	天気とその変化	協力して雲を作る実験を行い、雲が出来る条件を調べる。

全国最優秀賞受賞の田子さんの作文を紹介!

警察庁 全国作文最優秀賞

『『今を生きる』とは』

福島県石川郡石川町立石川中学校 2年 田子礼良

命。私たちはその身近にありながら命の大切さを本当に分かっているだろうか。私は正直、命について考えることはあったとしても、命の危険をそばに感じることはなかったと思う。

そんな私が命を意識するようになったのは、学校で行われた、「命の大切さを学ぶ教室」を受講したことがきっかけである。教室では交通事故で娘さんを亡くされた女性が当時の事を話してくれた。私たちと同じ中学校生だったその少女は朝まで、妹と笑顔で会話をし母親にいきますと言っていたように家をあとにした。その日の夕方、彼女は命を落とした。私は思い浮かべた。今朝のことを。朝練がある私は母と少し話をし、すぐに家を出た。そんな私の後ろ姿に命の危険など母を感じるわけがない。きっと亡くなった少女のお母さんも当時、そんなふうには感じなかったはずだ。そうなのだ。いつもここにある普通の毎日を支えているのが私の命なのだ。そして私はこの命があるから父や母、妹と話することができる。日々がその証である。そう思うことができた。でも私が生きる時間が誰かの生きたかった未来なのかもしれないのだと、女性の話を聞いて感じた。それと同時に、私にもいつも命の危険がそう遠くないところにあるということを実感した。なぜなら、話してくれた女性が私たちに「命の大切さ」を教えてくれたからだ。目に涙を浮かべさせて、私たちに「命の大切さ」を教えてくれたのだ。何気ない毎日を守るためにこの命を大切にしていきたい。そして私は命についてもっと家族と話したくなった。

私は教室のあと、母と命について話すことにした。母は私に知り合いの救命救急士さんの話をしてくれた。いつも生死と間近で向き合っている仕事だ。ある日、子供を連れて車に乗っていたお母さんが、子供にシートベルトを着用させなかったために、事故でお子さんを亡くされてしまった。一生懸命助けようとしたけれど、息が戻ってくることはなく、とてもショックを受けたと、母に話していたという。母はそれ以来必ずシートベルトを確認して車を走らせるそうだ。私は母がそんなふうになんか気がついてくれたことを知って、嬉しくなった。母と命の話をして良かったと思った。母は私や妹の命をととても大切にしてくれているのだと、安心した。私は色んな人に、この命を守ってもらって、今を生きている。

「命の大切さを学ぶ教室」。この教室を受講して、家族と命について話して深く考えることができた。前よりずっと自分の命を大切にするようになった。今、生きていて私は笑うことができる。泣くことができる。その命が自分だけのものではないということをお忘れず、これからもたくさんの方の命を感じ、たくさんの方の命を学んで、毎日を生きていきたい。